



ほけんだより 9月号



☆月・木曜は爪チェックデー☆

2025年 9月発行

おだ学園保育園

看護師 三浦

夏が過ぎ、ひと回り大きく、たくましくなった子どもたち。まだまだ暑さが続く中で、元気に遊びを楽しんでいます。夏の疲れが出てくる時期です。しっかりと睡眠をとって体調を整えて過ごしましょう。

8月の感染症データ

- ・発熱……………16名
- ・RSウイルス感染症…2名
- ・コロナウイルス感染症…1名
- ・突発性発疹……………1名

8月は7月後半から引き続き、発熱が多くみられました。一度回復してもまた発熱をしてしまうお子さんも多くみられたように思います。暑さ等で体の疲れがたまっており、免疫力も低下しているかもしれません。生活リズムを整え体調管理を行っていただくようお願いいたします。

防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。救急箱の中身も期限が切れていないか等の確認をするよい機会です。

また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する



これで安心!

ちょっとしたけがのケア

元気な子どもは小さなすり傷や切り傷が得意なもの。化のうさせずに治す方法を知っておきましょう。



ウェットタイプの絆創膏は使い方をチェック!

モイストタイプ（ハイドロコロイド素材）の絆創膏は、2歳以下の子どもには使えません。使用上の注意を守って使いましょう。

1 手当てする大人がまず手を洗う

手から汚れがうつるのを防ぎます。

2 傷口を流水で洗う

流水で傷口をやさしく洗い、泥や砂などを取り除きます。とげなどが刺さっているときは、毛抜きで抜き取ってから流水で傷を洗いましょう。

3 傷口を保護する

絆創膏やガーゼなどで傷口を覆います。絆創膏は毎日交換して、傷の治り具合をチェックしましょう。

傷口の汚れやとげなどが取り除けない、傷がなかなか治らないときは、病院へ!